

やすらぎ

第30号

平成28年8月1日発行

岐阜市民病院 代表電話 058-251-1101 ホームページ <http://gmhosp.jp/>



理念

心にひびく医療の実践

基本方針

- ・患者さんの権利を尊重し、心温まる医療を行います。
- ・安全で信頼されるチーム医療を行います。
- ・地域の医療機関と連携し、患者さん中心の継続した医療を行います。
- ・地域の中核病院として、最新かつ高度な医療を提供できるよう努めます。
- ・職員が生き生きと働くことができる環境づくりに努めます。



被災地に出発するDMAT隊員6名と病院長

市民病院が担う役割とは

病院長 富田 栄一

本年四月に発生した熊本地震では、災害時の拠点となるはずの庁舎や病院等が損壊し、使用できないという事態が起こりました。当病院は平成二十三年十月に「災害拠点病院」に指定され、ヘリポートや非常用自家発電機を整備し、中央診療棟は耐震構造、西診療棟は免震構造となつていますが、いざという時に地域の役に立てるよう、今後も準備を進めて行きたいと思っております。

また当病院は、災害や大規模事故の発生時に出勤する災害派遣医療チーム（DMAT）を2チーム編成しており、県からの出動要請により、地震発生の日後には現地での救命活動を行いました。さらに、医療救護班として二班十二名の医師・看護師・薬剤師・診療放射線技師・事務員を派遣し、被災地での救護活動に従事しました。

さて、同じく四月には診療報酬改定が行われました。今回の改定は、団塊の世代が七十五歳以上になる二〇二五年（平成三十七年）に、どこに住んでも適切な医療・介護サービスが受けられる社会の実現に向けて、高度急性期・急性期・回復期・慢性期を担う病

院・診療所の機能分担と連携を明確にし、推進するための改定となりました。その中で当病院は、DPC II群に指定されました。

DPC II群とは、

- ① 高密度な医療を効率的に実施し、
- ② 多くの研修医を受け入れ人材育成を担い、
- ③ 技術や経験が必要な難しい手術や症例の診療を一定数以上実施し、
- ④ 多くの重症患者を受け入れていく。

『大学病院本院に準じた診療機能を有する病院』のことを言います。全国の約一六〇〇の急性期を担うDPC病院のうち、I群（大学病院本院）にI病院、II群に一四〇病院が指定されており、県内では当病院を含め二病院が指定されています。

また、高齢化に伴い、がん罹患する人が増加する中、地域がん診療連携拠点病院として高度ながん医療を提供するため、本年十月からPET-CT検査を開始すべく、現在、準備を進めております。この検査により、がんの早期発見、診断が今まで以上に向上し、地域医療に貢献できると思っております。

今後も、かかりつけの先生方や地域医療機関との機能分担と連携を図りながら、救急・災害医療、高度医療の提供に努めてまいります。

PET-CT装置導入のお知らせ

中央放射線部

平成二十八年十月から当病院でPET-CT検査ができるように、現在、旧リハビリ棟の改修工事が進行中です。皆さんには長く待っていただき、ご迷惑をおかけしております。

PET検査は早期胃がんを除くすべての悪性腫瘍に保険適応が認められ、この十年間でがん診療には欠かせない検査となりました。

PET検査ではブドウ糖にほぼ同等のFDGという放射線（陽電子）を出すお薬を静脈注射します。がんは正常な臓器よりもたくさんブドウ糖を消費するので、FDGも同様にがんによく集積し、がんから放射線が出てくることとなります。その様子を画像化して、治療前にはがんの存在部位と広がり特定し、治療後には治療効果を評価します。

しかし、ブドウ糖はがんだけでなく、炎症（肺炎や胃炎など）を起している部位にも集積します。また、PET画像のみでは臓器境界がわかりにくいという欠点もあります。そのためPET画像と同時に撮影したCT画像を重ね合わせる（融合）ことにより、

CTで描出された鮮明な臓器と病変に、ブドウ糖の集積情報が合わさり、がんの詳細な情報が評価できるようになります。

下に融合画像を示します



PET画像

CT画像

PET-CT融合画像

両側の肺がんがFDGが集積し赤く示されています（矢印部分）

通常、PET-CT検査の撮影時間は十分程度かかり、患者さんには大きな負担になっていました。また、肺や肝臓では呼吸による動きで画像に『ボケ』ができ、見づらい部位でしたが、今回導入するPET-CT装置は最新鋭の装置で、従来の装置に比べ、検査時間が短く（十〜十五分）、呼吸同期システムによる『ボケ』の少ない高画質な画像が撮影できます。

PET-CT装置の詳しい特徴は、病院ホームページをご覧ください。



認知症、

ひとりで悩まならで相談を

認知症看護認定看護師 長屋 千鶴子



突然ですが、「マーガレット・ヒルダ・サッチャー」「ロナルド・ウィルソン・レーガン」「ジャック・ルネ・シラク」って、誰かわかりますか？そうですね。言わずと知れた、元大統領や首相です。この人達にはある共通点があります。もちろん政治家ですね。でも、それ以外に、認知症という共通点があります。

今や六十五歳以上の高齢者の四人に一人が認知症及びその予備軍だと言われている時代です。誰にでも認知症になる可能性はあるのです。認知症になったら、「何もわからなくなる」「何もできなくなる」等と思っている方も多くみえると思いますが、認知症になったからといって、何もわからなくなるわけではなく、何もできなくなるわけでもありません。「認知症を抱えた人は、自分の知的低下に気づき、不安

を感じ、自信を喪失しながらも、懸命に生きている人」なのです。

でも、認知症と診断された方が、日々どのような思いで過ごしているのか、周囲の人にはなかなか理解できません。つい「何回言ったらわかるの!」「いい加減にしてよ」など、認知症の人に対して、イライラしたり、きつい言葉を投げつけてしまうこともあるでしょう。そんなとき、ちょっとした話を聞いてもらったり、相談に乗ってもらえると楽になることもあるのではないのでしょうか。

当病院では看護外来を開設しています。まだまだ知名度は低いのですが、認知症看護についての相談外来も開設しています。予約は必要ですが、気軽に相談していただければと思います。

海外留学で培われたもの

人工関節センター長 大塚 博巴

皆様 こんにちは！ 昨年四月から生まれ故郷の岐阜で勤務し、本年、還暦を迎えた大塚博巴（おおつか ひろみ）です。愛知医科大学に約三十年間勤務し、股関節外科、特に人工股関節置換術や入れ換え手術を中心に股関節の痛みで悩んでいる方々が安心して笑

顔で生活できるよう一生懸命に努めておりましたが、縁あって岐阜市民病院人工関節センター長として赴任致しました。

一九九七年（平成九年）から約一年間、英国の人工関節の入れ換え手術で有名なエクセターに留学し、セメントを用いる人工股関節置換術や、そこで開発された入れ換え手術（再置換術）の勉強をしてきました。帰国後、日本でその方法を取り入れ精力的に股関節の手術を行い、その方法が日本で広く行われるように、友人達と各地でセミナーを開催しております。更には、これからの股関節外科を担っていく整形外科医の育成を手助けする「CHFEF」なる会の会長として、人工股関節のいろいろな問題で困っている患者さんについてアドバイスも行っております。国内だけでなく人工股関節の先進国である英国やオーストラリアの友人達とも幅広く交流し、場合によっては、彼らにも相談をしております。

今回は留学した英国のエクセターについて述べたいと思います。エクセターは、ロンドンの南西、列車で二時間半の所にあります。周囲の風景はゆるやかな丘陵が連なり、羊が放牧され牧歌的で心癒されます。緑にあふれ温暖な気候のため、英国人が住みたいベスト五に入る歴史ある街です。ローマ時

代の遺跡や橋、八世紀頃に建てられた美しい大聖堂が有名で、世界で最初に「HOTEL」と名乗ったホテル等もあります。



四十歳代前半だった私は、はじめは単身で生活し慣れない自転車通勤の毎日。病院までは昇り下りの坂が多く、休日には平坦な通勤路を探索しておりました。時代はインターネットが普及する前、さみしい単身生活や言葉の問題で、この私がストレスを抱え留学の目的さえ見失いかけていました。あと

から来た家族との合流で自分を取り戻し、家族のありがたみを実感しました。休日がほとんどなく時間が矢のように過ぎる大病院での勤務とは異なり、英国エクセターでの生活は時間がゆっくりと流れ、自分を見直し家族と向き合うことが出来ました。それは人生を左右する大きな事で素晴らしい経験でした。今でもエクセターは私たち一家にとって第二の心の故郷となっています。





熊本地震の被災地へ医療 救護班を派遣いたしました

平成二十八年四月十四日、十六日に発生した熊本地震において、岐阜県から岐阜県病院協会を通じて医療救護班の派遣要請を受けました。当病院では四月三十日から五月六日までの七日間を前半と後半の二班に分けて合計十二名（医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、事務員）を派遣し、最も被害の大きかった熊本県益城町を中心に活動を行いました。

主な活動内容は避難所の過密対策と、いわゆるエコノミークラス症候群と言われる深部静脈血栓症（DVT）の検査を行うことでした。

益城町内の各避難所は避難者で溢れ、感染症が瞬く間に広がる恐れがあったため、町は避難所の過密解消を狙い、天草市の下田温泉への二次避難を企画しました。医療救護班は、避難者の方々が二次避難先で体調不良となった場合、即座に対応できるように下田温泉へ同行しました。下田温泉への道中、看護師が中心となって健康状態についての聞き取りを行い、医療が必要な方には医師の診察や処方、薬剤師による薬剤管理指導を行いました。



車中泊を続ける方や、活動量の低下などで下肢のむくみを訴える方は下肢静脈血栓症のリスクが高いため、医師の診察、診療放射線技師による下肢静

紹介状なしの初診の場合のお願い

平成28年4月から、一般病床500以上の地域医療支援病院には、他の医療機関からの紹介状を持たない初診患者さんへ5,000円以上の定額の負担を求めることが義務付けられ、当病院では選定療養費として5,400円をご負担いただいております。これは、かかりつけの先生方との機能の分担及び業務の連携の推進のためです。

なお、人間ドックや市町村検診後で医師が精密検査を要すると書かれた結果票を持ってお越しの場合は定額の負担はありません。ご理解ご協力をお願いします。



脈工コーで血栓の有無を確認しました。幸い、血栓のある方は見つからず、避難者の不安を取り除くことができました。
今回の経験を、災害拠点病院として指定されている当病院の今後の活動に活かしていきます。

編集後記

読者のみなさん「やすらぎ」第30号が完成しました。本号では、岐阜市民病院が担う役割、PET-CT装置導入、認知症看護認定看護師の紹介、被災地への医療救護班の派遣、紹介状なしの初診について掲載いたしました。

その他に、現在、岐阜商工会議所発行の「月報」に当院の医師が健康情報を毎月提供しております。機会がありましたら、一度ご覧ください。

編集部一同



外来診療のご案内

- 診療科目・・・内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科

- 休診日
土・日・祝日と12月29日～1月3日
*詳細はホームページでも紹介しています。
市民病院ホームページ <http://gmhosp.jp/>

